

こころ育てる絵本との出会い

マクちゃん通信

2017 8-9 vol. 45

さんかげつご

絵本作家インタビュー

ヨシタケシンスケ

特集 大人も絵本



ヨシタケシンスケ



いかんともしがたい現実を
面白がったり、受け入れるための
「ちょっと珍しい方法」を
提案できたらいいな。

ヨシタケシンスケ プロフィール

1973年神奈川県生まれ。イラストレーター、絵本作家。筑波大学芸術研究科総合造形コース修了。日常のさりげないひとコマを独特の角度で切り取ったスケッチ集や、書籍の挿絵、挿画、イラストエッセイなど、多岐にわたり作品を発表している。
絵本『りんごかもしれない』（ブロンズ新社）で、第6回MOE絵本屋さん大賞第1位、第61回産経児童出版文化賞美術賞などを、絵本『りゅうがいます』（PHP研究所）で、第8回MOE絵本屋さん大賞第1位、『もう めげない』で、第9回同賞第1位を受賞。
著書に、『せまいゾドキドキ』（講談社）『ヨチヨチ父』（赤ちゃんとママ社）『つまんないつまんない』（白泉社）『あるかしら書店』（ポプラ社）など。

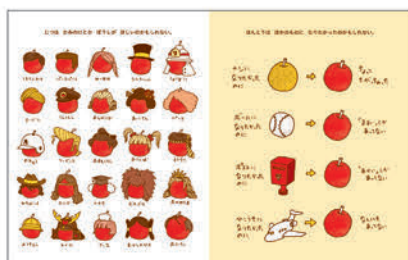
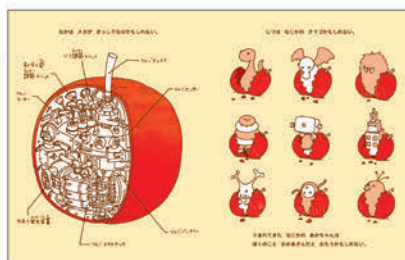
絵本原画展開催

平成29年7月22日(土)～9月21日(木)

原画展示絵本

『りんごかもしれない』
(ブロンズ新社)

テーブルの上りんごがおいであつた。でももしかしらこれはりんごじゃないのかもしれない。そもそもなぜここにあるのだろうか？1個のりんごから、果てしなく広がる発想を楽しもう。



『もう めげない』(ブロンズ新社)
お風呂に入るために、お母さんに服を脱がされそうになつたばく。ひとりで脱ぐから大丈夫って言ったのに。服がひつかつて脱げなくなつてから、もうどのくらいたつたのかしら。

ギャラリーでは、デビュー作『りんごかもしれない』と、2017年、ボローニャ・ラガッツィ賞特別賞を受賞した『もうぬげない』の2冊をご紹介します。

ヨシタケシンスケ先生に インタビュ―



絵本作家になられたきっかけは？

私のイラスト集を見た編集の方から「絵本を描いてみませんか？」と連絡をいただきました。一から新しい企画を作るのは苦手だったのですが、「お題」さえいただければ私にも絵本を作ることができる、ということがわかりました。

画材は何を使っていますか？

普通のコピー紙にシャープペンシルで下描きをして、0.3ミリの細いサインペンで線を描き、パソコンに取り込んでデータにします。デザイナーさんにパソコン上で着色をお願いしています。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や
思い出を教えてください。

『りんごかもしれない』

「何か一つの対象をいろいろな視点でみてみる絵本」という「お題」を編集の方にいただいていた。当初は教育的な要素が多く、なかなか面白くならなかったのですが、「かもしれない」というキーワードができたことで自由度が増し、自分でも楽しんで作ることができました。

『もうぬげない』

喫茶店でお母さんに抱っこされている男の子が、お母さんから脱出しようとして服がひっくり返ってしまった状況を目撃して、「服が引っかけた主人公が、なんとか脱ごうと試行錯誤するお話」を思いつきました。「普通の子が、普通の失敗をする絵本。でも、面白い絵本」が作ればいいな、と考えました。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象
深い絵本は？

デビュー作『りんごかもしれない』です。自分に絵本が作れると思っていたので、編集の方といろいろ相談しながら、「自分の作り方」を模索しました。絵本を作る喜び、読んでもらえる喜びを覚えてもらった本です。

絵本をお作りになるときのこだわりは？

自分が子どもだった頃、好きだった絵本、読んでみたかった絵本、嫌だった絵本を思い出し、当時の自分に喜んでもらえるような絵と内容にすることです。また、大人が読んでも楽しめる絵本を目指すことです。

絵本を通じてお伝えになりたいことは？

他人とわかり合うことは難しいし、自分の思い通りにならないことは多い。その、いかんともしがたい現実を面白がったり、受け入れるための「ちょっと珍しい方法」を提案でき

ればいいな、と思っています。

今後どのような絵本を描いていかれますか？

「くだらない」と思われているテーマと、「大事」と思われているテーマを同じ熱量で扱っていきたいです。そのことで、読む人が「自分にとって大事なことはなんだろう」を考えるきっかけが作れたら、と考えています。

ご趣味についてお聞かせください。

きれいな本や面白い本、変な本を探して買うことです。

好きな言葉を教えてください。

「ものはいよいよ」。どんなことも、言い方ひとつ、考え方ひとつで面白くもつまらなくもなる。その「新しい言い方」「新しい伝え方」を提案できる作家になりたいです。

ファンの方へメッセージをお願いします。

人間、成功することもあるれば失敗することもあります。この先、面白いものばかり作ることはいかにもできませんが、あたたかく長い目で見守っていただけると、とっても嬉しいです！

ヨシタケシンスケ先生、ありがとうございました！

ヨシタケシンスケ先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント



『もうぬげない』
(プロンズ新社)

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、
ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
ヨシタケシンスケ サイン本プレゼント係
締め切り 平成29年10月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。





経田 博子
絵本セラピスト協会認定 絵本セラピスト

特集 / 大人も絵本

大人だから：絵本で感じる時間

ある人は誕生日に絵本を贈ってくれたり、またある人は落ち込んでいた私を訪ねて来て黙って一冊の絵本を置いていつてくれたり…。気にかけてくださっているその気持ちが嬉しくて、何度もいただいた絵本を開いています。

「絵本」と「贈ってくれた人」、両方に恵まれたことに感謝する時間を過ごしながら、いつしか私は何か絵本に関わることができないかと思うようになりました。模索していた私は、ある日、一冊の本に出会いました。「大人のための絵本セラピー」(瑞雲舎)。この本はこころの処方箋(瑞雲舎)。この本がきっかけで、自分も絵本セラピーを体験したいと講座を受講。そして資格を取得し、現在、絵本セラピストとして色々な場所で絵本を紹介する機会をいただいています。

*

絵本セラピーでは、テーマにそって絵本を選びます。また、安心の場づくりや、お互いを知る自己紹介、お互いを尊重して話を聴く時間、自分の体験を思い起こす時間等、それぞれの役割があります。

ある時、「自分の夏の思い出」を書き出すワークがありました。その時に、小学生だった頃の自分の思い出がふわっと蘇り、蝉の声やカブト虫の匂いに包まれました。読み聞かせてもらった絵本の中の少年を追いつながら、私もその絵本の世界に居ました。だからこそ、自分の思い出がずっと

浮かんだのでしょうか。

絵本を通して蘇った思いは、とても自然に素直な自分を映してくれると、私は感じています。

*

大人だからこそ、自分が生きてきた人生と絵本とを照らし合わせることができず。また、自分の経験や知識が邪魔をして感じ取ることができなかった感覚を、何人かで一緒に絵本を読み聞かせてもらうことや、お互いに自由に語ることで気づくことも多々あります。

自分と他者の価値観の違いを知り、認め合うこと。そして、良い悪いの評価をしないこと。簡単そうでなかなか出来ないことです。普段如何に評価の中で暮らしていることが多いか、そして、そのままの自分を受け入れてもらえることがどんなに喜びや安らぎをもたらしてくれるものかを、私は絵本セラピーで実感できました。

*

自分を元気にするために、時にはほんとした時間を自分に贈るために、これから絵本を活用していきたいと思っています。

絵本を贈ってもらって有難いと思った私は、大切な人に絵本を贈ることもあります。色々な場面で絵本が私にほっこりした時間をくれたように、私が贈った絵本たちも、きっとその人のそばに寄り添って、さりげなく見守り、心の支えとなってくれていることでしょう。

私のおすすめ絵本

『あかり』

林 木林／文
岡田 千晶／絵
光村教育図書

私のろうそくは
何を照らしてきて、そして何を
照らしていくのだろうと
想像しています。



『ひとつ』

マーク・ハーシュマン／作
バーバラ・ガリソン／絵
谷川 俊太郎／訳
福音館書店

ひとつもみんなの集まり。
集まるとひとつ…。
ラストのページで
キュンとなりました。



『なつのいちにち』

はた こうしろう／作
偕成社

五感で感じる夏！
夏のあの日の時間が
蘇ります。



『ママがおこると かなしいの』

せがわ ふみこ／作
モチツキ マリ／絵
金の星社

魔法の耳、持っているかな？
こころの声、
聴いているかな？
自分に問いかけてみたくなる
絵本です。



『ねこの看護師 ラディ』

瀬上サトリーノ／文
上杉 忠／絵
講談社

猫は不思議な力を持っていると私も我が家の猫を見ながらそう思っています。
ラディの在り方、素敵です。



『キャシーのぼうし きぼうのものがたり』

トルーディ・クリシャー／文
ナディーン・バーナード・ウェストコット／絵
かつら あまね／訳
評論社

お気に入りの帽子
理由がある帽子
いつでも身につけたい
のは…!?ラストが楽しみ。



イベントレポート

ゴールデンウィークイベント 4/27~5/7



行楽日和の続いたゴールデンウィークでしたが、外に負けないほどのにぎわいを見せてくれたのが5月3日に行われた「はいはいレース」。約20mの距離をあとという間にゴールする赤ちゃん、途中で引き返してしまったり赤ちゃん、なぜか横に進む赤ちゃんなど個性豊かなレースに会場はつねに歓声と笑顔がいっぱい！出場してくれた24人の赤ちゃんたち

このほか連休中はハートビートライフ・オカの先生たちによる「親子でたのしくふれあい遊び」やZUTAさんの「大道芸パフォーマンス」絵本プレゼントなどが行われ、県内外からの多くのご家族連れが絵本館を楽しんでくださいました。

中にはタイムの記録された賞状が手渡されました。「大きくなったら見せてあげたい」とパパやママ、おじいちゃんやおばあちゃんたちの応援も多くあり、たくさんさんの愛情が伝わってくるひと時でした。



創作教室レポート

メリーゴーランドえほん 4/29・30

360度ぐらりと開いて飾って楽しめる、メリーゴーランド型のしかけ絵本づくりに挑戦。表紙にも本紙にも窓がいているので、閉じても絵が覗いて見えるし、開いたときも隣のページの絵も覗いて見える、賑やかなしかけ絵本となりました。母の日や誕生日のプレゼントにした人も多かったようです。



何を描こうか迷ったけど、好きなものを描くことにしました。後で見た時にその時好きだったものが分かるのでいいと思いました。
(さきさん・9歳)

むずかしかったけど、がんばったらできてうれしかったよ。パパへのいいプレゼントができました。
(みなさん・6歳)



おおしま 手づくり絵本 コンクール 2017

募集が
はじまります!

おおしま手づくり絵本コンクール2016
最優秀賞受賞作品「雷神さん」

募集期間 8月30日(水)~9月8日(金) (★必着)

募集内容 未発表の手づくり絵本
(過去1年以内に制作したものでテーマは自由)

募集資格 作者が高校生以下であること

募集部門 ①園児の部 ②小学生の部 ③中高生の部

※詳しくはお問い合わせください。

夏休み★製本教室

たった2時間でハードカバーの
製本をマスターできます。

都合のよい日を
1日選んで予約
してください。

7月	25日(火)	8月	8日(火)
	30日(日)		15日(火)
8月	1日(火)		22日(火)
	6日(日)		27日(日)

時間▶各回9:30~11:30

受講料▶1,600円(材料費、入館料込み)

※絵や物語の制作は含まれません。

10・11月イベント

シアター・パフォーミングスホール

おおしま手づくり絵本 コンクール2017

【参加作品展】

■とき/9月23日(土・祝)~10月11日(水)

【入賞入選作品展】

■とき/11月8日(水)~11月26日(日)

いのちの絵本

■とき/11月5日(日)

13時30分~15時30分

出演/有馬理恵(舞台女優)

村上信夫(アナウンサー)

カフェギャラリー

ケーキハウスミユク展

—kawaii mori—

■とき/9月30日(土)~10月13日(金)

中坪弓子展 人間じゃないんです

■とき/10月14日(土)~10月29日(日)

釋永陽 うつわ展

■とき/11月1日(水)~11月14日(火)

ねんねこ屋「本日!爪とぎ日和!!」

■とき/11月15日(水)~11月29日(水)

ギャラリー

酒井駒子 絵本原画展

■とき/9月23日(土・祝)~11月29日(水)

【展示原画】

「はんなちゃんかめをさましたら」(偕成社)

「よるくま クリスマスのまへのよる」

(白泉社)

